

中海・宍道湖・大山圏域市長会10年間の主な取組

① 経済界との連携による効果的な産業支援策

中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会と歩調を合わせて、圏域内企業の経済活動の活性化をめざし、「圏域内企業のビジネスマッチング」、「山陰いいものマルシェプロジェクト」、「台湾やインドとの経済交流」、「産学官・医工連携事業」など、様々な事業を実施し、圏域の産業振興を図っています。

② 中海・宍道湖・大山圏域観光局の設立

平成 29 年度に「中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構」を設立、平成 31 年度には一般社団法人「中海・宍道湖・大山圏域観光局」に改組し、日本版 DMO にも登録しています。圏域のブランド化の推進、観光客の受け入れ体制の強化、観光消費の高める取組みなど、観光振興に関する様々な取組を圏域一体となって実施しています。

③ 地方版総合戦略の策定と地方創生事業の実施

平成 27 年度には、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会と連携し、「圏域版総合戦略」を策定し、各市の総合戦略にもその内容を掲載し、「中海・宍道湖・大山圏域ブランド化推進プロジェクト」、「中海・宍道湖・大山圏域のローカル T O グローバルイノベーション」など、地方創生に関連する取組を効率的かつ効果的に実施しています。さらに、令和元年度に「第 2 期圏域版総合戦略」を策定し、圏域の強固な連携のもとに事業を展開しています。

④ 災害等に関する連携

災害時の相互応援活動を円滑に行うため、「中海・宍道湖・大山圏域災害時相互応援協定」、「中海・宍道湖・大山圏域災害時消防相互応援協定」を締結しています。また、山陽地方の備後連携協議会（福山市、三原市、尾道市、府中市、世羅町、神石高原町、笠岡市、井原市）と、災害時の協定を締結しています。

⑤ 高等教育機関との連携

島根大学と、圏域を含む地域の活性化、産業振興及び人材育成に寄与することを目的とする包括的連携に関する協定、また、東京大学地域未来社会連携研究機構と、多様な地域課題の解決に向けたプロジェクトを実施する連携協定を締結し、各大学と圏域住民等との交流の促進を図っています。

⑥ 圏域の交流促進

圏域内の様々な団体等と連携し、環境学習の普及促進や、圏域のプロスポーツチームと連携や伝統芸能を活用した圏域住民の交流推進、交通インフラ整備促進にかかる国へ要望活動、圏域の未来担う人材育成等、多様な取組を実施し圏域内の交流促進を図っています。